

T&D Jリートファンド限定追加型1402

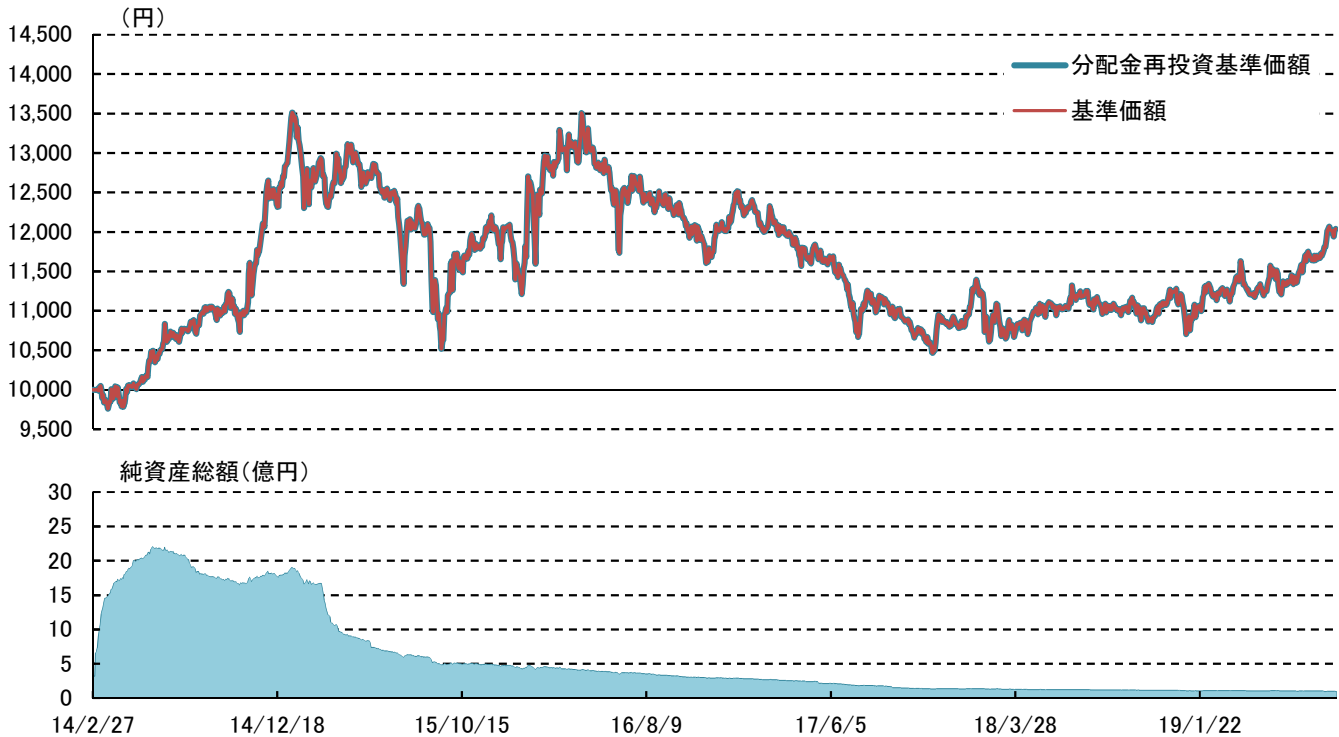
※本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入していますので、合計の数値とは必ずしも一致しません。

運用実績および分配実績は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額と純資産総額の推移 (設定来:日次)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

なお、基準価額および分配金再投資基準価額は信託報酬控除後です。



商品概要

設定日	2014年2月28日
信託期間	2021年6月18日まで
決算日	12月20日 (休業日の場合は翌営業日)
信託報酬率	年 0.8424% (税抜 0.78%)
基準価額	12,039円
純資産総額	98百万円

期間別騰落率

過去1ヵ月	3.2%
過去3ヵ月	4.9%
過去6ヵ月	6.8%
過去1年	8.8%
過去3年	-3.1%
設定来	20.4%

※収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

資産配分

	比率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-J-REIT Fund (適格機関投資家限定)	97.5%
マネーアカウントマザーファンド	0.5%
現預金等	2.0%
合計	100.0%

※比率は純資産総額に対する比率です。

分配実績 (1万口当たり、税引前)

第1期	2014年12月22日	0円
第2期	2015年12月21日	0円
第3期	2016年12月20日	0円
第4期	2017年12月20日	0円
第5期	2018年12月20日	0円
設定来分配金合計		0円

※本資料をご覧いただくにあたっては、3ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-6722-4810 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)
インターネットホームページ <https://www.tdasset.co.jp/>

投資対象ファンドの運用概況

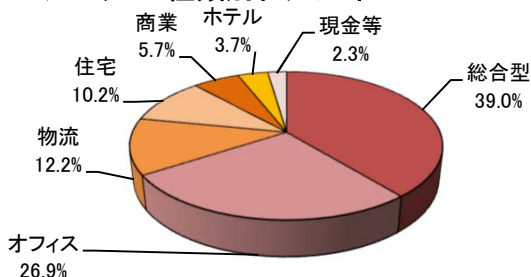
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-J-REIT Fund(適格機関投資家限定)
2019年8月末現在

※投資対象ファンドの運用概況は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン(シンガポール支店)より入手した情報をもとに作成しております。なお、T&D Jリート
ファンド限定追加型1402の基準価額への反映を考慮して1営業日前の数値を使用しております。
※各項目の比率は純資産総額に対する比率です。 ※種類は当社独自の分類です。

◆ 資産配分

	比率
Jリート	97.7%
現金等	2.3%
合計	100.0%

◆ Jリート種類別組入比率



◆ Jリート組入上位10銘柄

	銘柄名	種類	比率
1	野村不動産マスターファンド投資法人	総合型	7.8%
2	ジャパンリアルエステイト投資法人	オフィス	7.4%
3	日本ビルファンド投資法人	オフィス	7.3%
4	オリックス不動産投資法人	総合型	6.8%
5	ユナイテッド・アーバン投資法人	総合型	6.4%
6	GLP投資法人	物流	4.4%
7	大和ハウスリート投資法人	総合型	4.3%
8	日本プロロジスリート投資法人	物流	4.2%
9	インベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人	オフィス	3.9%
10	コンフォリア・レジデンシャル投資法人	住宅	3.8%

組入銘柄数 26銘柄

ファンドマネージャーのコメント

市況概況

当月のリート市場は、世界的に金利の低下圧力が強まるとの見方が広まるなか、米国の対中追加関税の発表を受けて国内株式市場が大幅に下落する一方、業績の安定性や相対的な利回り水準の高さを評価した資金の流入が続き、月を通じて上昇しました。
これらの結果、当月の東証REIT指数(配当込み)の騰落率は4.2%上昇となりました。

運用概況

当月の基準価額騰落率は3.2%の上昇となりました。個別銘柄では野村不動産マスターファンド投資法人やオリックス不動産投資法人などが影響しました。
7月の東京都心のオフィス空室率は1.71%と前月から低下、平均賃料(坪)は67ヵ月連続で上昇するなど依然として堅調な市況が継続しています。
運用ポートフォリオに関しては、当月は分配金の成長余力に乏しいケネディクス商業リート投資法人を全売却しつつ、セクター内で相対的に投資魅力度の高い銘柄の保有を継続しました。

今後の運用方針

貿易摩擦問題など海外政治・経済情勢に不透明感が漂うものの、都市部を中心とした賃貸不動産への旺盛な需要により、国内の不動産市況は当面堅調に推移すると考えます。また、長期金利は低い水準で推移しており、相対的に高い分配金利回りが安定的に期待できるJリートは今後も底堅く推移すると見えています。
当ファンドにつきましては、相対的に物件取得による資産成長の可能性の高い銘柄や既存の保有物件において賃料上昇余地の高い銘柄への配分を高め、投資口価格が上昇しバリュエーション面での魅力が薄れた銘柄と入替えを図っていく方針です。

※市況概況および運用概況の投資対象ファンドに関する部分は、T&D Jリートファンド限定追加型1402の基準価額への反映を考慮して1営業日前の情報をもとに作成しております。また、文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

※本資料をご覧くださいにあたっては、3ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-6722-4810 (受付時間は営業日の午前9時~午後5時)
インターネットホームページ <https://www.tdasset.co.jp/>

ご留意いただきたい事項

- 本資料はT&Dアセットマネジメントが当該ファンドの受益者に運用状況をご報告するために作成した運用レポートであり、当ファンドを含む有価証券の売買の勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また、本資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等の内容は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。本資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 本資料の様式、表示項目等は将来、予告なく変更される場合があります。